

双葉の園 園だより

第378号 令和 4年 3月 3日 発行

園庭の梅の花が咲き始め、3月1日には春の陽気になりました。《春の弥生のこの佳き日 今日楽しいひな祭り》の歌やピアノの音がどこからか聞こえてきます。のどかな春の日ですが、昨年に引き続き今年もまだ新型コロナウイルス感染症に振り回されています。

昨日、駒場小学校の校長先生（20年前の双葉の保護者です。）にお会いして、お子さんたちの事や卒園児のことなど話をしました。話しているうちに今年卒園する子たちが「ひよこ組」だった頃の事などが思い出されてきて、その間の色々な関わりや成長に思いをはせてしまいました。

この子たちがきりん組の時までは、はな組やひかり組は、サマーランドや水族館にバスで出かけたりしてきたのに、この2年間は、三密を避けて徒歩遠足となりました。それはそれで子どもたちは楽しかったと思いますが、残念でもありました。

今年度は、運動会が進化して「秋のお楽しみ会」になりました。お楽しみ会と名前をかえてみると、紙テープの綱引き、おばけやしき、宝探し・・・など今までの運動会とは全く違う自由な発想が生まれてきました。誰が行事の主人公なのか？誰のための行事なのかを考えていくと・・・こうなるのは必然でした。運動会では私たちも心の中どこかに人に見せるという発想がありましたが、子どもの為の行事と考えると、スッキリします。子ども中心で子どもの考えをよく聞くことから始めると双葉の園らしさがはっきりと出てきました。

創立90周年。コロナ禍の状況では、三密を避けるという事から保護者の皆さんも交えてお祝いすることが出来ませんでした。子ども達にキャンパスの上に自由に絵を描いてもらいました。事務所の窓の下に飾ってある絵は見飽きませんね！（外すのが惜しい気がしています。）

双葉祭もコロナ禍では、今までのようにはできませんでした。三密を避けるために期間を長くして廊下やホールの一部を展示スペースにしました。そして、ロバの音楽座は子ども達のノリも良く素敵な音楽会でしたし、柴田愛子先生のお話は子育ての楽しさが良く伝わりました。大変評判が良かったので来年も同じような企画を続けたいと思います。

○園庭 保育士がどうすればもっと安全に楽しい園庭ができるか話し合った結果3つに分けることになりました。**トレックス広場**（ボール遊びができる園庭）、**おやま広場**（築山の園庭）**アゴラ広場**（ホール前）と名付けました。

築山は、駆け上り、すべり降り、日向ぼっこもできますし、山のふもとには運河も作っています。アゴラは古代ギリシャの町の中心にある広場のことです。ホールの前は階段がありますので、子ども達がそこに座ればアゴラ広場は劇場のようです。

さて、お楽しみ会は、コロナ禍の感染状況があまり改善しない状態ですから、保護者の皆さんにお越し頂くわけにはいきませんが、もうすぐ卒園式です。

卒園式だけは保護者も参加していただきたいと計画しています。（・・・形は今までとは変わります。）

何とかそれまでは新型コロナウイルス感染症による休園がないようにしたいと願っています。



3がつうまれのおともだち
おたんじょうびおめでとう

りす

はな

きりん

ひかり

今月のうた

ひよこ

ひなまつり
ちゅうりっぷ

きりん

うれしいひなまつり
ちゅうりっぷ

いちご
みかん
もも

おはながわらった

はな

うれしいひなまつり

こじか
りす
うさぎ

うれしいひなまつり
はるがきた

ひかり

さよならほくたちのほいくえん

今月の予定

- 3日 ひなまつり会
- 7日 ひかり組リクエスト給食
- 12日 卒園式
- 17日 お別れ遠足
- 22日 新保育室開始
- 31日 お別れ会

※なお以下の予定は中止になりました。

- 4日 ひかり組を送る会

3月22日(火)より保育室を移動します。

ひよこ⇒いちご

いちご・みかん・もも⇒こじか・りす・うさぎ

こじか・りす・うさぎ⇒きりん

きりん⇒はな

はな⇒ひかり

ひかり⇒ホール